

# こどもが考えて、こどもが決めて、こどもが進めるまちづくり!

## こども主体のまちづくり!

本書ではこどもの権利実現のための先進都市である高知市の取り組みを紹介するとともに、高知市が参考にしてきたドイツのミュンヘン市の取り組みも同時に紹介。

高知市とミュンヘン市のこども主体のユニークなまちづくりが、日本各地のこどものまちづくりの参考となる格好の一冊!

(卯月盛夫「はしがき」より)

(2023年度)  
第54回「博報賞」  
を受賞!!

## ミニ・ミュンヘンver.2 —もうひとつの都市



ISBN : 9784894910898

好評発売中  
残部僅少

制作・企画・編集:  
ミニ・ミュンヘン研究会  
(代表・卯月盛夫)  
定価: 本体2,667円+税  
体裁: DVD映像&  
ブックレット(増補版)  
発売: 2010年6月

増補版はミニ・ミュンヘンの成功を支える舞台ウラに注目。ミニ・ミュンヘンに刺激され、日本でも「遊びの都市」として「こどものまち」が各地に展開し広がっている。(カラー 40分)



## こどもまちづくりファンド —ミュンヘンから高知へ



編著  
卯月 盛夫  
畠中 洋行

執筆協力  
高梨 沙帆  
土肥 潤也

編集協力  
高知市

萌文社

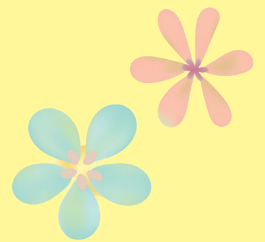
定価: 本体価格1,800円+税  
体裁: A5判並製184頁 写真/図版227点  
ISBN: 978-89491-408-7

### 主要目次

刊行によせて 高知市長 岡崎誠也  
はしがき 卯月盛夫  
第I章 ミュンヘン市におけるこどもと家族にやさしいまちづくり  
第II章 ミュンヘン市の「こども・青少年フォーラム」提案内容の考察  
第III章 高知市における「こども主体のまちづくり」  
第IV章 「こうちこどもファンド」の概要  
第V章 「こうちこどもファンド」によるこどもたちの活動  
第VI章 「こうちこどもファンド」10年の成果  
第VII章 こども・若者を次の舞台へ  
参考資料  
あとがきにかえて 畠中洋行 卯月盛夫

●編著Ⅱ卯月盛夫・畠中洋行 ●執筆協力Ⅱ高梨沙帆・土肥潤也 ●編集協力Ⅱ高知市

# こどもまちづくりファンド —ミュンヘンから高知へ



## 子どもにやさしいまちづくりを進めるための実践的指針となる書



### 喜多 明人

早稲田大学名誉教授、同大学文化構想学部社会構築論系・「子ども支援のまちづくり」講座担当・元教授

地域・自治体が消滅と言われて久しい。少子化によって、2044年には、地方自治体の数は半減するとまで言われている。

希望は地域の担い手たる子どもたちだ。子ども基本法が制定された今、全国各地で子ども参加の子ども施策が進んでいる。子ども参加のまちづくりを掲げる自治体も珍しくなくなった。ただし、その多くは、意見提言型の子ども参加だ。子ども自身がまちづくりに取り組む、そのための予算を獲得し、実施する例は少ない。

本書は、高知市が進める「こうちこどもファンド」という財源をもって、子どもたちが予算計画を提案し、子どもたちによって審査し、獲得した予算をもってまちづくりを進めていくという先進的な事例である。その実践は、編者、卯月盛夫氏によれば、ドイツ・ミュンヘン市に学んだという。ミニ・ミュンヘンは、日本で全国に展開している「ミニ・シティ」(子どものまち)の原点であるが、ミニ・ミュンヘンが、ミュンヘン市における「子どもと家族にやさしいまちづくり」施策の一翼を担っていたことは意外と知られていない。本書を通して、高知市における「とさつ子タウン」(ミニ・シティ)とまちづくりの取り組みに刺激を受けて、全国各地のミニ・シティの取り組みが、「地域の将来をかけた」まちづくりに発展していくことを期待したい。

## こどもまちづくりファン ドは未来を照らす灯り



### 安藤 桃子

映画監督

「地球のこども達の中にはビジョンがある。ビジョンとはつまり、未来へのフィルムだ。私達はそれを照らしてゆく、灯りとならなければ。優しく照らそう、こどもビジョン。まず、私から。」



## ミュンヘンのこどもたちから 高知のこどもたちへ、 そして……

### 「こうちこどもファンド」の 参加者が語るそれぞれの思い

コラム「こども・若者が主役」より



- こどもたち自身が立案し行動する機会を与えてくれるこの制度は、地域だけでなく自分自身の素晴らしさにも気づかせてくれる…この制度が全国的に広まり、より良いまちづくりができるようになることを願っています。
- 地域の奉仕活動の枠を超えています。活動への参加がこどもの頃だけにとどまらず、社会人になってからもこの活動に関わり、次世代のこどもたちに伝えていくことで、よりよい循環を作り出すことができます。
- 幅広い年齢層のこどもたちが集い、出会い、思いを伝え、そして応援をするということも、「こうちこどもファンド」の大きな魅力の1つだと感じています。
- 「こども審査員」の意見や考え方を聞くと納得する部分や自分では考えられなかった疑問点や次々に出てきたこと、またときには大人が唸るほどの意見がこどもから出たこともあり…
- 活動の中で新たな課題に直面した時も、その課題に対して真摯に向き合い解決の糸口を探る姿勢は、私自身も見習わないといけないと感じています。
- 協調性を身につけることが出来たおかげで、現在の事業においても従業員に伝えたいこと、やりたいことなどについて対話を通して相互理解が大切にしています。
- 「自分の地域のために何かをしたい」という志を持つ世界中の人を繋ぎたいと考えるようになり、それは、「自分と同じ思いを持った人と、ひとつの目標へ向かっていくことの楽しさ」を知ったからです。
- 高知の人、自然、文化、歴史、すべてのヒト・モノ・コトが大切に大好きだと胸を張って言えること。私の高知愛の始まりは「こうちこどもファンド」です。
- 学校単位の団体応募は増え、それに比べて地域から一目置かれていたグループの参加が目立たなくなるのは寂しい気持ちになり…他の人へ素敵な変化をもたらしてくれることを期待しています。
- 地域や周囲と積極的に関わり自分自身を成長させたいと考えるようになり、今の自分の根幹となる「積極的に他者と関わる」という行動理念を形成するきっかけとなりました。
- 「久重地域が元気になっているだろうか?」…その答えをこどもたちが実感した瞬間でした。地域の方の願いを聞くなかで…大人とこどもが出会うと、まちの未来が輝きます。
- 絶海池(たるみいけ) クリーン大作戦をきっかけに地域の方と生徒たちが繋がり、学校だけでなく日々の生活の中でも関わりが増えたことが一番の成果だと感じています。